

防除情報

病害虫防除グループ

シロイチモジヨトウに注意！

- 1 加害作物 ねぎ類、豆類、なす科野菜、あぶらな科野菜、花き類など広範囲の作物
- 2 発生状況と今後の予想
- ・フェロモントラップへの誘殺虫数が、6月上旬の時点で、多くの調査地域において平年に比べ多く、増加傾向にある。
 - ・向こう1か月の気温は、平年に比べ高い確率が60%と予想されており、今後発生が増加する可能性がある。
 - ・近年、主に西日本で発生が多い。
- (R1 注意報 徳島、大分、愛知、香川、京都 H30 注意報 11府県)



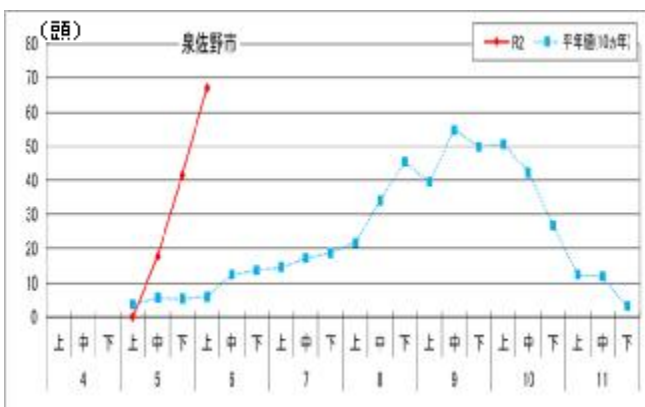
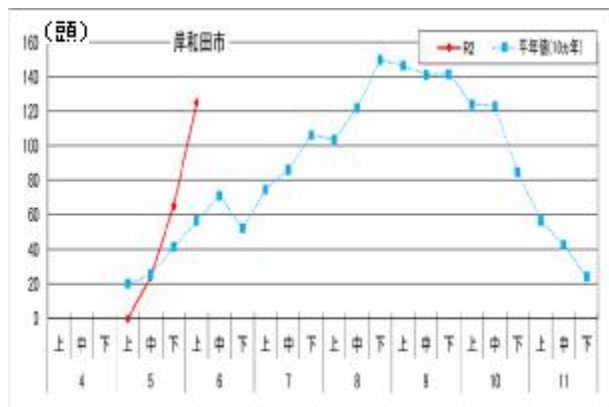
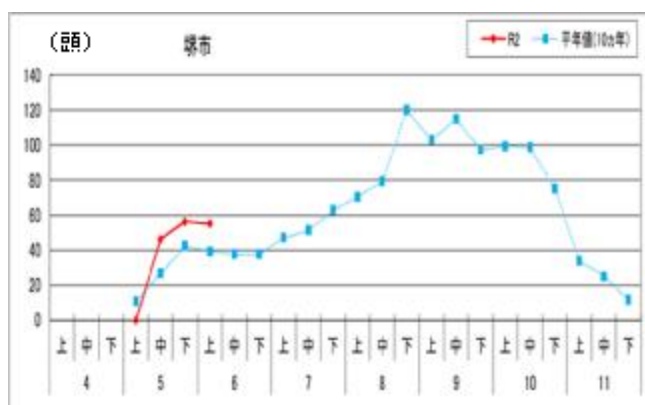
図1 ねぎを加害する中齢幼虫

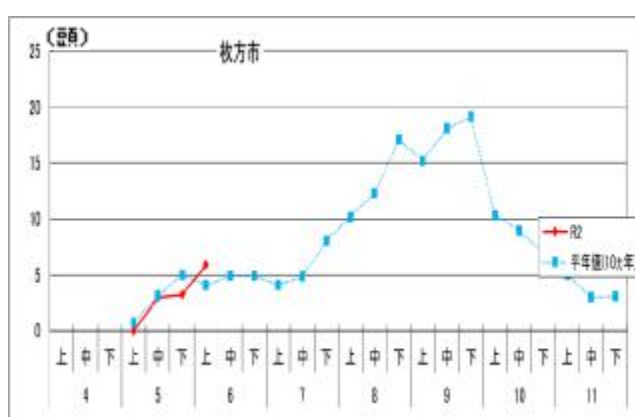


図2 鱗毛で覆われた卵塊

※(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所提供

●フェロモントラップへの誘殺虫数





3 防除方法

- (1) ほ場の見回りをこまめに行い、卵塊や分散前の幼虫は、見つけしだい葉ごと取り除く。
- (2) 老齢幼虫になると薬剤の感受性は大幅に低下するので、中齢幼虫までに薬剤を施用する。
- (3) 同一系統薬剤の連用を避ける(表1, 2, 3)。

主な登録薬剤

表1 ねぎ

薬剤名	系統(IRAC)	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
グレース乳剤	メタジアミド・ イソキサゾリン系 (30)	2,000～3,000 倍	収穫7日前まで	2回以内
ベネビアOD	ジアミド系 (28)	2,000 倍	収穫前日まで	3回以内
アフーム乳剤	アベルメクチン・ ミルベマイシン系(6)	1,000～2,000 倍	収穫7日前まで	3回以内
ディアナ SC	スピノシン系 (5)	2,500～5,000 倍	収穫前日まで	2回以内
コテツフロアブル	ピロール (13)	2,000 倍	収穫7日前まで	2回以内

表2 野菜類

薬剤名	系統(IRAC)	適用作物名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
ゼンターリ顆粒水和剤	BT (11A)	野菜類 (はくさいを除く)	1,000 倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	—
デルフィン顆粒水和剤	BT (11A)	野菜類	1,000 倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	—

表3 花き類・観葉植物

薬剤名	系統(IRAC)	適用作物名	適用害虫名	希釈倍数	本剤の使用回数
コテツフロアブル	ピロール (13)	花き類・観葉植物	ヨトウムシ類	2,000 倍	2回以内
アフーム乳剤	アベルメクチン・ ミルベマイシン系(6)	花き類・観葉植物	ヨトウムシ類	1,000 倍	5回以内
ノーモルト乳剤	ベンゾイル尿素系 (IGR 脱皮阻害)(15)	花き類・観葉植物	ヨトウムシ類	2,000 倍	2回以内
ロムダンフロアブル	ジアシル・ピラジン系 (IGR 脱皮促進)(18)	花き類・観葉植物	シロイチモジヨトウ	1,000 倍	5回以内

●Web 版大阪府病害虫防除指針 (<http://www.jpnpn.ne.jp/osaka/>)

●農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報提供システム (http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)